



エナガ *Aegithalos caudatus*

日本では顔に黒い眉斑がない亜種シマエナガ *A. c. japonicus* が北海道に生息し、亜種チョウセンエナガ *A. c. magnus* が対馬に、亜種エナガ *A. c. trivirgatus* が本州に、亜種キュウシュウエナガ *A. c. kiusiuensis* が九州・四国に生息する (※1)。亜種シマエナガ以外はほとんど羽色に差がなく (※2)、識別は困難である。

四国では海岸近くから深い山地まで生息し (※3)、冬季は他のカラ類と混群になることが多い。

※1「日本鳥類目録第6版」日本鳥学会, 2000
※3「四国の野鳥誌」石原保, 1982

※2「日本の野鳥 590」真木広造 & 大西敏一, 2000

バンディング

鳥類標識調査の現場から

エナガの亜種を確認する

岩田 篤志

先日、亜種キュウシュウエナガと亜種エナガの識別点を調べる機会がありました。羽色には差はあまりないようです (亜種キュウシュウエナガが濃いともありましたが、よくわかりません)。ただいくつかの文献に、亜種キュウシュウエナガの方が小さいとあり、測定値 (単位は mm) が掲載されていました (上の表)。

幸いエナガは五色台・峰山で5羽捕獲したことがあり、うち4羽を測定していました (下の表)。ご覧のとおり、翼長は56mm未滿、尾長は72mm以下くらいです。やっぱり本州に比べて小さいようです。

亜種	文献番号	採集地	性及び数	翼長	尾長	露出嘴峰	ふしよ
エナガ	①	本州	3♂A	58-60	72-76	7.5-8	16-17
		本州	4♀A	56-59	72.5-76	7-7.5	16-17
		本州	12♂A	57-62	72-84	-	-
	②	?	?	59	75	8	17
	③	?	?	59-64	-	-	-
キュウシュウエナガ	①	九州	♂♀	54-58	65-75	7-8	15-17
		九州	3♂A	56-57.5	67-68	7.5-8	16-16.2
		九州	2♀A	54-56	65.5-69	7	15.5-16
	②	?	?	56	70	8	16
	③	?	?	55-59	-	-	-

文献①「日本の鳥類と其生態 第一巻」山階芳麿, 1934 (一部省略) 文献②「原色鳥類検索図鑑」, 宇田川竜男, 1982
文献③「TITS, NUTHATCHES & TREE CREEPERS」Simon Harrap & David Quinn, 1996

調査地	放鳥年月日	足環番号	性	齢	自然翼長	全頭長	尾長	ふしよ	体重
坂出市青梅町白峰寺	2000.5.1	1C-83419	U	1S	55.6		68	16.6	7.9
高松市西宝町峰山	2001.3.20	1C-83252	U	U	55.3	21.9	72		
高松市西宝町峰山	2001.4.16	1C-83258	U	A	53.3	22.5	67	16.2	
高松市西宝町峰山	2001.4.16	1C-83259	U	A	55.7	22.9	66	16.3	